委 員 会 会 議 録

（社）滋賀県トラック協会

会 議 名	第１回　滋賀県交通安全フェア特別委員会
開催日時	令和５年　３月　６日（月）　１０：３０～１２：００
開催場所	滋賀県トラック総合会館　４Ｆ「大ホール」
出 席 者	甲斐切会長、松田副会長、山田副会長、丸山副会長、竹備副会長、 委員 10 名、事務局５名

協　　議　　内　　容

定刻に開会。

甲斐切会長より挨拶をされた。

甲斐切会長が議長として議事に入った。

なお、各議題については事務局から説明を行い、次の通り決定された。

（1）　正副委員長の互選について

当初は、滋賀県交通安全フェア特別委員会設置要綱第３条に基づき、委員長１人、副委員長３人をいずれも副会長をもって充てることだったが、松田副会長から新しく組織を変えてより良くしていきたい趣旨もあり、副委員長は副会長からではなく、各委員長からではどうかと提案があった。

協議の結果、滋賀県交通安全フェア特別委員長に松田副会長、副委員長に安全環境委員会苅谷委員長、滋賀県トラック青年協議会松田会長、滋賀県トラック女子部会平川部会長が就任された。

また、要綱の改正が必要なため、次回の理事会で協議される予定で、仮での決定となった。

松田副会長が交通安全フェア特別委員長に決定され、挨拶された後に議長に就任された。

松田議長の議事進行により、協議に入った。

（2）　令和５年度事業計画・予算（案）について

前年度の執行率が予算の 122%に対し、令和５年度の予算を去年及び前回（平成３０年度）の執行額を踏まえた予算にするのはどうかと指摘を受け、次回の会議で前回度（平成３０年度）の詳細を説明することとなった。

今年度はコロナで３年ぶりの開催だったこともあり、令和５年度の予算は資料の通り決定し省けるところは省くことになった。

(3)　第８回滋賀県交通安全フェアについて

委員出席から次の意見が出された。

・業者に一任ではなく、主催者団体と共催団体、後援団体が初心にかえって主導で、汗をかいて動くことで参加意欲につなげていく。→経費削減もつなげる。

・マンネリ化防止のために従来通りではなく、新しく、変わった企画をしていく。

・委員会ごとに各ブースを作ってはどうか？（ブースごとに各委員会予算を充てる）

・チラシや弁当が多く残っていたこともあり見直す必要がある。

・大型トラックを展示することで普段見られない魅力があるため展示してはどうか。
（去年はスペース（高さ）の問題で屋内展示できなかった。）

・他県の「トラックの日」の取り組みを参考として、携帯電話で QR コードを読み取りスタンプラリー等を企画してもおもしろい。

・去年２万人規模という実績をふまえ、紙ではなく SNS を活用してはどうか？

・テーマやターゲットを決めて企画等するべき。

・去年は戦隊ものを企画したことで子供連れが多く集まって良かった。

＜全体を通して＞

去年の反省点・良かった点を活かし、滋賀県トラック協会のメイン事業として、また、青年協、女子部会にもご協力を頂き今年スタートという新しい気持ちをもって、我々が汗をかいて主導に取り組んでいくこととなった。

(4)　その他

・滋賀県交通安全フェア実行委員会にドラゴンハットの管理者を１名追加で出席することとなった。

・滋賀県交通安全フェア実行委員会に滋賀県バス協会の専務理事から事務局に入りたいと要望があり、バス協会専務理事、滋賀県タクシー協会専務理事が事務局に入ることとなった。

・実行委員会には甲斐切会長、松田副会長、安全環境苅谷委員長、青年協松田会長、女子部会平川部会長の５名が参加されることとなった。

■次回委員会

日　時　　令和５年　４月 11 日（火）　13 時 30 分～

場　所　　滋賀県トラック協会総合会館　３階「会議室」